

N A G I S A

おぎん

公立羽咋病院広報誌 2011

第34号



病院理念

人にやさしく 信頼される病院

基本方針

私たちは 皆様の権利や意思を尊重し、納得のいく医療を提供いたします。
 私たちは 地域に必要な医療を提供し、健やかで豊かな地域社会の実現を目指します。
 私たちは 安全で良質な医療を提供するため、日々研鑽いたします。

羽咋郡市広域圏事務組合

は く い
公立羽咋病院

〒925-8502 石川県羽咋市の場町松崎24番地
 TEL(0767)22-1220 FAX(0767)22-5598
<http://www.hakuihp.jp/> E-mail:hakuihsp@po.incl.ne.jp

新しい治療法

きょくしよいんあつへいさりょうほう バックリょうほう

局所陰圧閉鎖療法 (VAC療法)

形成外科医師 宮下 松樹

けがや床ずれなど、治りにくくなったキズに対し、欧米では10年以上も前から新しい治療法として導入されてきた治療法が、2010年4月から、日本でも保険適用とされ治療がうけられるようになりました。当院でも、いち早く、この治療法を導入し、北陸の病院では4番目の早さで治療を開始し、能登地区では最初に行えるようになりました。

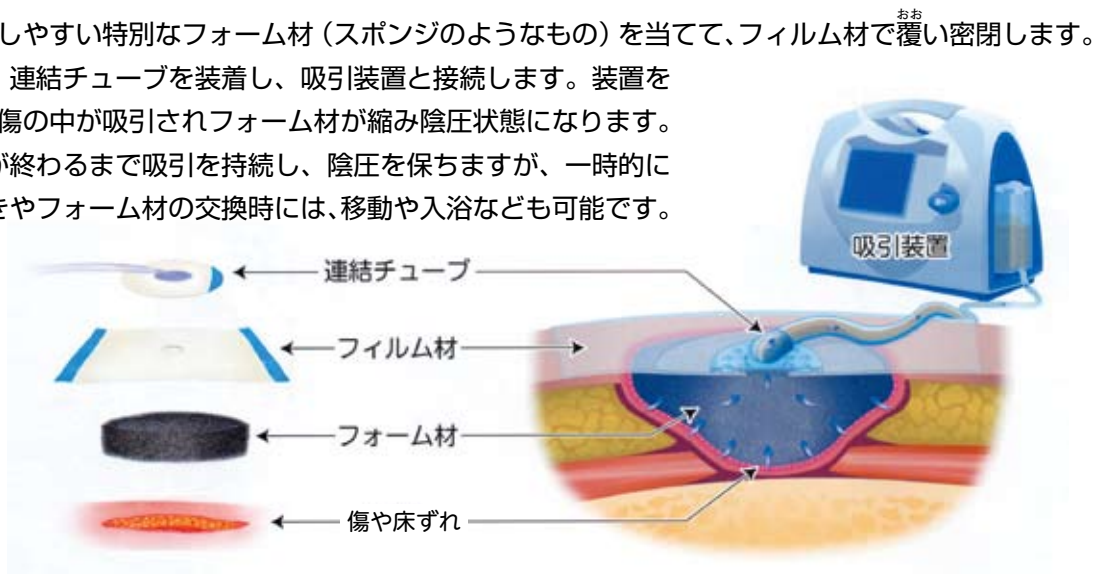
○局所陰圧閉鎖療法とはどのようなものか？

局所陰圧閉鎖療法とは、創傷（キズ）を密閉し、吸引装置を使って創部に陰圧をかけることにより、創傷を密閉し保護するとともに、その中を吸引することによって、過剰な浸出液（キズから染み出てくる体液）や感染の悪化の原因となりうるような老廃物や細菌を取り除きます。

また、吸引する力が創傷の表面にかかることによって細胞の活動性が高まり、血流を増加させ肉芽組織（創傷を修復する組織）の形成を早め、創傷の縁を引き寄せ、創の収縮を促進します。

○局所陰圧閉鎖療法はどのように行うか？

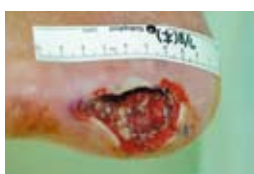
創傷内に、吸収しやすい特別なフォーム材（スポンジのようなもの）を当てて、フィルム材で覆い密閉します。さらにその上に、連結チューブを装着し、吸引装置と接続します。装置を作動させると、創傷の中が吸引されフォーム材が縮み陰圧状態になります。基本的には治療が終わるまで吸引を持続し、陰圧を保ちますが、一時的に病室を離れるときやフォーム材の交換時には、移動や入浴なども可能です。



○局所陰圧閉鎖療法の適応は？

軟膏などの治療や、簡単な手術で治るような創傷には対象にならず、なかなか薬だけでは治らないキズ、手術が難しい部位、全身状態が思わしくなく手術に耐えられない人には有効な手段です。また、創傷が早期に閉鎖できなくても、創傷の状態を整えるので、ガーゼ交換をおこないやすく、手術につながりやすい状態にします。

○VAC療法を行った例（踵のけが）



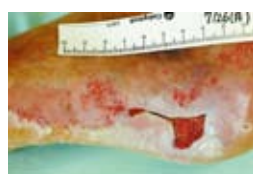
装着前



装着



装着 10日目



装着 20日目で終了



軟膏療法約1ヶ月で治癒

栄養状態が良ければ、機械で吸引することで、深いきずも早く治すことができます。

家庭で役立つ医療情報 — 褥瘡予防 —



褥瘡（床ずれ）は、自分で寝返りができず、同じ姿勢を続けることで、自分自身の体重が一定の部位に長時間にわたりかかり、皮膚に血液が流れなくなって細胞が死んでしまう状態です。床ずれの原因には、圧迫だけでなく、十分な食事をとれない事による栄養不足や、やせ、皮膚の老化などがあります。



★床ずれのしやすい部位

⇒ 骨の出っ張った部位：おしり・太ももの外側・くるぶし・かかと 等



★床ずれをつくらないためには？（予防）

①観察（皮膚が赤くなっていないかこまめに見る）

②除圧（圧迫を避ける）

1) こまめに姿勢を換える。

（引きずらないで）

2) 背抜き・足抜きをする。

お尻や踵が寝間着やシーツに引っばられたままにしないで、一度持ち上げて下ろす

3) 骨の出っ張った部位が圧迫されない姿勢の工夫。

4) 体圧分散寝具（エアーマット、低反発マットレス、介護用クッション等）を利用する。

③清潔（おしりは弱酸性の泡石けんで優しく洗い流し、水をはじくクリーム、スプレーで皮膚を保護する。）

④栄養（バランスの良い食事をしっかりとる。）



★床ずれになったらどうすればいい？

①病気の治療、栄養をとる、皮膚を清潔にする、圧迫を減らす。

②早めに医師や看護師に相談する。

褥瘡対策委員会 吉野明子

小児心身症外来閉鎖のお知らせ

2011年4月より都合により小児心身症外来（山村医師）は閉鎖となります。大変ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。



10月20日に 災害トリアージ訓練を行いました

当院では、毎年災害患者受け入れ訓練や避難訓練などを企画し実施していますが、今年度は昨年に引き続き災害患者受け入れ訓練を行いました。

トリアージとはフランス語で“選別”という意味です。「人材・資源の制約の著しい災害医療において、最善の救命効果を得るために、多数の傷病者を重症度と緊急性によって分別し、治療の優先度を決定すること」です。的確にトリアージを行い、迅速な治療を混乱無く行うためには、指揮命令系統の確立が非常に重要です。すなわち“船頭多くして船山に上る”ということにならないようにすることが大切です。

災害委員会では昨年の災害訓練終了後より、前年度までの反省点や問題点について検討し、災害時のマニュアルを修正してきました。その結果、指揮命令系統の確立＝本部の役割の明確化をおこなうことと、多職種の情報伝達や連携方法の再確認が必要と判断し、再度同様の訓練を実施することを企画しました。

訓練の1ヶ月前に、多職種の動きを理解するためにマニュアル研修会を行い、訓練に臨みました。当日は羽咋消防の協力を得、連絡・準備⇒患者搬送⇒トリアージ⇒受け入れ⇒検査・治療のシミュレーション訓練を行いました。模擬患者役のスタッフの名演技もあり、実践しながらの訓練を行うことができました。

今回の訓練では情報伝達・指揮命令系統の再確認ができましたが、まだまだ検討すべき課題は山積みです。体制を整備するために繰り返し訓練や研修を行い、今後の地域医療に活かしていければと思います。

血液浄化センター主任看護師 森本ゆかり



新任医師紹介

2000年5月のGWでした。私が羽咋に始めて訪れたのは、それから大学在学中に毎週末、ヨットに乗るため滝港まで通い続ける事、6年。船酔いとこの格闘の日々でした。

元来身近であった羽咋市に御縁があったのでしょうか、再度お世話になるチャンスを頂きました。金沢医



外科医師 富田泰斗

大より2010年10月付けで羽咋病院外科スタッフの一員として勤務させて頂いております。大学病院以外での勤務は始めてであり、要領を得ず周りの病院スタッフの方々にはご迷惑をおかけするばかりです。

同じ千里浜に沈む綺麗な夕日を眺める羽咋市の一員として、流暢な関西弁と医療を通じて皆様方と共に頑張りたいと考えております。今後とも御鼻頂に宜しくお願い致します。

退院時アンケートより

「富田先生が丁寧にお話をして頂き、解りやすく、安心して聞く事ができました。ありがとうございました。」

サンタが 病院にやってきた

12月24日・25日に職員がサンタクロースになって、外来と病棟の子供たちとデイケアの利用者さんにささやかなプレゼントを配りました。皆さん喜んでくれました。来年も来るかな？サンタさん。



平成22年度 公立羽咋病院改革プラン評価委員会

公立羽咋病院改革プランの進捗状況について、点検・評価等のため11月25日に委員会が開催されました。

【収入の増加・確保対策】

- ◆医師の確保対策として、研修医の受け入れや地域医療を担う医師養成に対する支援や地域医療確保のために活動を行う石川県地域医療支援センターへの協力を引き続き実施。
- ◆看護師・医療技術職の確保対策として、1年間を通しての募集活動の実施や看護師等修学資金貸与条例の制定（H23.4から施行）。
- ◆患者の確保対策として、患者アンケートを実施し、職員の接遇の向上を進めるとともに外来を改修し、よりよい環境の整備を実施。また、患者の利便性を考慮し、公共の交通機関の十分に確保されていない地域へ毎週金曜日1往復送迎ワゴンを運行。

【費用の削減・抑制対策】

- ◆施設管理については、中・長期計画でリニューアル等実施するとともに国庫補助金を利用して、管理棟耐震化整備の実施設計を平成22年度中に作成。
- ◆光熱水費の削減については、職員への周知とエネルギーの使用の合理化に関する法律に基づき計画を作成。
- ◆材料費、消耗品の削減は目標を上回る実績、患者数などで目標の達成が出来なかった。

【経営形態のあり方】

- ◆平成22年9月、構成市町議会で組合規約の改正の決議をいただき、平成22年11月、第3回羽咋郡市広域圏事務組合議会定例会で地方公営企業法の全部適用に関する条例が議決されました。現在、平成23年4月1日からの施行に向け、規程等の準備を進める。

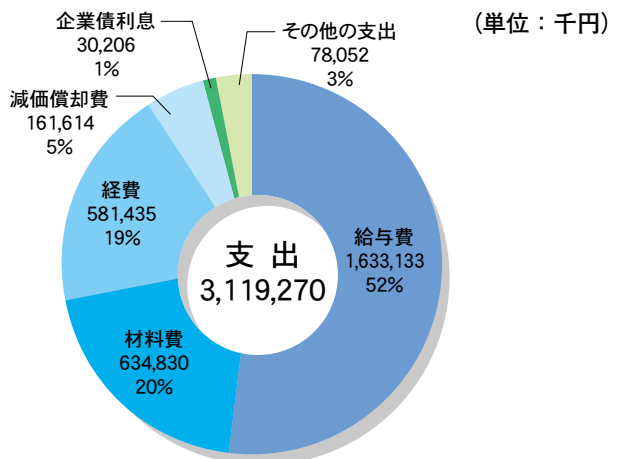
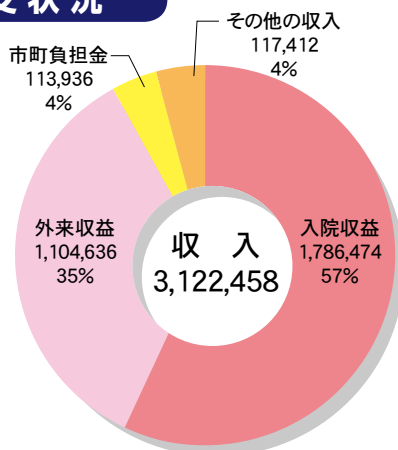
以上、平成21年度及び平成22年度上半期の業務実施報告や工程表の進行状況などの説明が行われ、委員会からはおおむね良好との評価を受けました。

庶務課総括主幹 荒木 孝平

平成21年度決算のお知らせ

平成21年度病院事業の決算について、ご報告申し上げます。

収支状況



当年度純利益 3,188 千円

利用状況

区分	年延数	1日平均	1人1日当たり収入	病床利用率
入院	52,523人	143.9人	34,013円	75.7%
外来	119,729人	450.1人	9,226円	

福祉まつりに参加して

禁煙ワーキンググループ

今回、私たちは禁煙ワーキンググループの活動の一環として、はくい福祉まつりに参加してきました。実践内容としては、「スモーカーライザー」という機械を使った呼気中の一酸化炭素濃度の計測、禁煙についてのアドバイス、喫煙の害についての情報提供等です。色々な方と接する中で、既に禁煙を開始されていた方が多いように感じました。これは、昨今の喫煙による健康被害に対する理解の広がり、分煙等による喫煙場所の減少、更に極めつけは、10月より始まったタバコの増税。特に、増税による経済的事情で禁煙を開始された方が多いようです。うちの父親もその口です（笑）。

臨床工学技士 木下諒

糖尿病対策チーム

「かくれ糖尿病チェック」というテーマで、血糖測定をさせて頂きました。174人と多

くの方が血糖測定をされて、糖尿病に対する関心の高さに驚きました。多くの方は正常な値でしたが、数名の方の値が高く、糖尿病についての説明をさせて頂きました。

糖尿病は、毎日のちょっとした心掛けにより、発症や合併症の悪化を防ぐ事が出来ると言われています。今後も皆様に、健康な生活を送って頂けるよう、啓蒙活動を行っていききたいと思います。

糖尿病療養士 主任看護師 西村由記



やすらぎコンサート

- 10/28 (木) 宮本光子ミニミニコンサート（独唱）
- 11/ 8 (月) 翠松会の大正琴と踊り
- 12/13 (月) 白百合幼稚園ハンドベル演奏と歌

秋から冬にかけて3つのコンサートを行いました。どのコンサートも70人の方が集まってくださいました。どの演奏も優しい音色と和やかな雰囲気、一緒に口ずさむ曲もあり、患者様も家族も職員も全員で楽しませていただきました。コンサートに出演して下さった方々に感謝申し上げます。



ありがとう
ごさいます

- ♥ 33号、34号表紙絵手紙
- ♥ 絵画 辻口 敦子先生
- ♥ 写真 羽咋美術協会
- ♥ 園児の絵 羽咋写真協会
- 余喜保育所
- とき保育園
- こすもす保育園